テレサテン「償い（償還）」の日・中の歌詞の違いに関する一考察

2017 年 8 月 16 日
名古屋大学名誉教授・明治学院大学名誉教授　加賀山　茂

目次

1　問題の所在 1
2 「償い」の「愛を償えば別れになる」の意味の難解さ 2
3　中国語の歌詞の「償いはいらない」の意味 2
4 「愛を償えば別れになる」という意味の解釈とその破綻 3
5　結論 4
（参考）「償い（償還）」の歌詞に関する日中比較表 5

1　問題の所在

テレサテンが歌う「償い（償還）」は，曲（作曲：三木たかし）は共通だが，歌詞が日本語（作詞：荒木とよひさ）と中国語（作詞：林煌坤）とでまるっきり違う。

最初に出来た歌詞は日本語（荒木とよひさ）であり，作曲と曲名のテーマである「償い（償還）」が同じなのだから，通常ならば，「時の流れに身をまかせ（我只在乎你）」の場合に，日本語の歌詞（作詞：荒木とよひさ）に即して中国語（作詞：慎芝）が作られたように，両方の歌詞を同じ意味に同調させることが可能であったはずである。

確かに，同じ曲でも，曲名を変えて，全く意味の違う歌詞を作ることはよく見られることである。例えば，日本の唱歌としても有名な「里の秋」の場合には，曲（作曲：海沼 実）は同じであっても，作詞は，日本語（作詞：齋藤信夫）と中国語（作詞：莊奴）とで，全く違う。しかし，この場合には，それぞれの曲名を見てみると，日本語は「里の秋」だが，中国語は「又見炊煙（かまどの煙）」というように，それぞれで異なるのであるから，同じ曲の作詞が異なっていても，それなりに納得ができる。

ところが，「償い（償還）」の場合には，曲名も作曲者も同一なのに，作詞だけが，正反対と思えるほどに異なる。このような事態が生じたのは，なぜなのだろうか。

この点について考察すると，日本の文化と中国の文化との違いが浮かび上がって来るように思われるので，ここで詳しく検討し，異文化理解の困難さを実感してみることにしたい。

2　「償い」の「愛を償えば別れになる」の意味の難解さ

まず，恋人同士の別れに際して「愛を償う」とはどう意味なのだろうか。
「償う」とは，罪または過ちの責任を取って埋め合わせをする（主として損害を賠償する）ことであるから，「悪いことの償い」をするというのならよくわかる。同じ題名のさだまさしの「償い」の歌詞は，交通事故で人を殺めた場合の償いの歌であるから，「償い」の意味が明らかにされており，説得力に富む。

しかし，荒木とよひさの「償い」の場合には，悪いことではなく，良いこととされる「愛」の「償い」というのだから，その意味の理解は困難である。それでも，あえて，「愛の償い」を理解しようとすれば，ここでの「愛」とは，「罪な愛」とか，「過ちの愛」ということにならざるを得ない。

作詞家の荒木とよひさがテレサテンのためにこの曲の作詞をしたときに，テレサテンはある男性と愛し合って婚約していたが，相手方から，結婚の条件として歌を辞めて主婦になることを望まれたため，その申し出を拒絶し，婚約を解消した直後だったといわれている。

その事情を踏まえた上で，テレサテンに送られた作詞だとすれば，「愛を償う」の意味は，愛を誓い，婚約までしながら，相手の結婚の申し出を断わらざるを得なかったという「罪な愛」を償うとすれば，それは，別れしかないという意味だと解釈することが可能となる。そうだからこそ，「私よりも可愛い人探すことよ」に続くことになるであろう。

しかし，よく考えてみると，それでは，「罪な愛」に対する償い（埋め合わせ）とはいえないことがわかる。なぜなら，自分の肩代わり（いい人）を紹介してこそ，「埋め合わせ」としての「償い」となるはずであり，代わりの人を「探すことよ」というのでは，責任の放棄であり，この曲のテーマである「償い」の意味とは，ほど遠い内容となっているからである。

こうしてみると，荒木とよひさの「愛の償い」は，この曲のテーマである「償い」の意味から逸脱していることがわかる。つまり，「愛を償えば別れになる」というフレーズは，「愛の償い」ではなく，過ちの愛を解消するための「過ちの愛の結末としての別れ」以外の何物でもなく，「償い」というタイトルとの間に，齟齬があると言わざるを得ない。

3　中国語の歌詞の「償いはいらない」の意味

これまでの「償い」の意味の検討を通じて，日本語の歌詞の「愛を償えば別れになる」という意味が論理的には成り立たないことが明らかになった。

この点について，テレサテンが中国語で歌う「償還（償い）」の歌詞の内容は，驚くべきものである。しかし，「償い」の本質をついている点で，興味深い。というのも，日本語の歌詞は，自分の側に過ちがあるという前提の下に，結末としての別れを，「償い」と扱っているために，「償い」の意味が不明になっている。これに対して，中国語の歌詞は，反対に，相手に過ちがあって愛が壊れたという前提の下で，「嘘で固められた言い訳という『償い』

はいらない，もう二度と私を傷つけないで」と，日本語とは正反対の内容となっているからである。

日本語の歌詞は，「自分に過ちがあるので，償うために身を引く」という，けなげな女性のイメージを歌い上げているため，日本人には受ける内容である。このレコードの売り上げが，150 万枚に達したといわれるゆえんである。しかし，先に述べたように，「償い」という観点からは，日本語の歌詞は，相手の意思を無視した独りよがりの無責任な内容であり，「償い」というテーマの内容としては，日本人以外には理解が困難だと思われる。

これに対して，中国語の歌詞は，相手に過ちがあるために，別れなければならなくなった場面において，「事情はよくわかったから，言い訳に過ぎない『償い』は，もういらない。二度と私を傷つけないでほしい」というものである。相手方にとって厳しい内容であって，日本では，はやらないかもしれないが，国際的には，誰にでも理解が可能な内容である。

憶測の域を出ないが，荒木とよひさから贈られた「償い」の歌詞は，たぶん，テレサテンにとっては違和感のあるものだったのであろう。

自分に過ちがあるから，身を引くというのが，本当に，相手に対する「償い」になるのか。自分の過ちに対して償いを求めることができる相手の意思を無視して，身を引くことが，はたして「償い」といえるのか，テレサテンに疑問が生じたのではないだろうか。

自分に過ちがある場合の償いとは，相手の意思を尊重して，埋め合わせをすることであって，こちらの判断だけで「別れる」ことが「償い」とはいえないのではないかとテレサテンは感じたのではないだろうか。

そこで，テレサテンは，この曲のテーマである愛の「償い」とは何かを考えたのではないだろうか。償いというからには，過ちを犯した方ではなく，その相手方の方から，埋め合わせを請求したり，それ自体を諦めたりするものだと考えたのではないだろうかと。

テレサテンの婚約破棄の経験からすれば，愛を誓いながら，自分に歌を辞めることを要求する相手方は，二人の愛を壊し，自分の自尊心を傷つけるものだったのであろう。別れを決意したときの心の叫びが，「あなたの言い分はよく聞いた。そんな無体な要求で愛を壊すことになった，あなたの言い訳の償いはもう結構，二度と私を傷つけないで」というのが，テレサテンの「償い」の実感だったのではないだろうか。

4　「愛を償えば別れになる」という意味の解釈とその破綻

日本でも，「愛を償えば別れになる」という意味については，それがわからない人が多いらしく，インターネットでは，曲は好きだし，なんとなくわかるような気がするけれど，正確な「意味を教えてほしい」という投稿が盛んになされている。

その中で比較的支持されている解答は，以下のようなものである。

年下の男を好きになってその男性と暮らし始めた女が，「過ちの愛」に気づき，その人のためには，自分が身を引き，その男にふさわしい可愛い人を見つけさせるのが，「過ち

の愛」の「償い」となると考え，男のその後を気遣いながら別れることにした。

しかし，「過ちの愛」の償いは，相手方が求めるものである。しかも，「償い」は，それを相手に押し付けることはできないものである。相手の男が，「年の差なんて問題ではない，このまま一緒に暮らしたい」と望んでいるとすれば，「愛を償えば別れになる」といって，身を引くことは，償いの相手の意思を無視するものであって，決して「償い」とはいえない。

むしろ，「年の差」を感じさせない愛を与え続けることが，「償い」となるはずである。次に続く「私よりも可愛い人さがすことよ」というのは，「償い」でもなんでもなく，相手の意思を無視した無責任な態度というべきであろう。

5　結論

三木たかしが作曲した曲に合わせてテレサテンが歌う日本語の「償い」の歌詞（荒木とよひさ）は，「過ちの愛」の「償い」として「身を引く」というストーリーであり，けなげな女性をイメージさせ，日本では受け入れやすいかもしれない。しかし，国際的な視点に立った場合には，「愛を償えば別れになる」というフレーズを理解することは困難だと思われる。

これに対して，テレサテンが中国語で歌う「償還（償い）」の歌詞（林煌坤）は，「償い」の意味を正確にとらえた上で，「愛の過ち」を犯した相手方に対して，「償いはいらないから，もう二度と私を傷つけないで」というものであり，愛に翻弄される女の立場を明らかにした優れた歌詞であると思われる。

日本語の歌詞は，日本人には何となく理解できるのであろう（女が浮気をしてしまったとか，女が過ちの愛に気づいたとか，いろいろな解釈が披露されている）。しかし，その結果として，日本では，「償い」の意味をはき違えた「勝手に身を引くことが償いになる」という無責任な行動を称賛するものとなっており，異文化理解が困難な典型例といえよう。

「戦争責任」，「過去の過ち」を含めて，「償い」の解釈は，日本とアジア諸国との異文化交流を妨げる大きな原因となっている。

日本人がアジア諸国との関係で「償い」を考察する際には，テレサテンの「償い（償還）」の曲の日本語と中国語の違いを検討し，日本人が支持する美徳としての「身を引く」という「償い」が，実は，大きな問題を抱えていることを気づくことが必要であると思われる。

「愛を償えば別れになる」というのは，身勝手な自己満足に過ぎない。「私よりも可愛い人探すことよ」は，むしろ，償うべき相手に対する不要な干渉であろう。過ちの「愛を償う」のであれば，「過ちを謝罪し，謝罪の心を行動で示す」ことが必要である，すなわち，「相手の思いを実現するには何をすべきか」を熟慮し，その実現を援助することであろう。相手の言い分を無視して，相手のためになるといって「別れ」を告げることは，決して「償い」とはならないことを銘記すべきではないだろうか。

（参考）「償い（償還）」の歌詞に関する日中比較表

作曲：三木たかし　作詞：荒木とよひさ（中国語：林煌坤）　唄：テレサテン

日本語（荒木とよひさ）	中国語・繁体字（林煌坤）	翻案（加賀山茂）
窓に西日が	chén mò de zuǐ chún 沉　默 的 嘴 唇	閉ざした唇
当たる部屋は	hái liú　zhe lèi　hén 還 留　著　淚　痕	目には涙
いつもあなたの	zhè bù shì yān zhī hóng fěn 這 不 是 胭 脂 紅　粉	化粧で隠せない
匂いがするわ	kě yǎn shì de shāng hén 可 掩 飾 的 傷　痕	心の傷あと
一人暮らせば	pò suì de xīn líng 破 碎 的 心 靈	砕かれた心
想い出すから	liú shī le duō shǎo de qíng 流 失了 多 少　的 情	流れ去った愛
壁の傷も	mí bǔ de　huǎng yán 彌 補 的 謊　言	嘘で固めた
残したままに	cháng huán de jí kǒu 償　還　的 藉 口	償いなんて
置いておくわ	wǒ bù huì qù dàng zhēn 我 不 會 去 當　真	信じられないわ
愛を償えば	ài de xīn lù　lǚ chéng 愛 的 心 路 旅 程	愛の始まりは
別れになるけど	zhǐ néng gòu nǐ wǒ liǎng gè rén 只 能　夠 你 我　兩 個 人	二人だけの世界
こんな女でも	bù kě néng shì wǒ dú pái huái 不 可 能 是 我 獨 徘 徊	独りぼっちはイヤ
忘れないでね	yě　bù kě néng sān rén xíng 也　不 可 能 三 人 行	他人ではないけど
優しすぎたあなた	nǐ　kě yǐ qù　zhǎo xīn de liàn qíng 你 可 以 去　找 新 的 戀 情	いい人を見つけなさい
子供みたいなあなた	yě　kě yǐ bù liú yī diǎn yīn xùn 也 可 以 不 留 一 點 音 訊	便りは，いいから
明日は他人同士に	dàn bù yào yòng cháng huán zuò jí kǒu 但 不 要 用　償　還　做 藉 口	償いは，いらないわ
なるけれど	zài ràng wǒ shāng xīn 再 讓　我　傷　心	もう傷つけないで

日本語（荒木とよひさ）	中国語（林煌坤）	翻案（加賀山茂）
心残りは	ài kū de yǎn jīng 愛 哭 的 眼 睛	泣き腫らした目
あなたのこと	ràng lèi shuǐ rǎn hóng 讓 淚 水 染 紅	涙にぬれた頬
少し煙草も	yào duō shǎo suì yuè shí guāng 要 多 少 歲 月 時 光	時の流れだけが
ひかえめにして	cái yí wàng zhè duàn qíng 才 遺 忘 這 段 情	癒してくれる
過去にしばられ	cuì ruò de xīn qíng 脆 弱 的 心 情	もろい心は
暮らすことより	hái liú zhe nǐ de shāng hén 還 留 著 你 的 傷 痕	傷つけられたまま
私よりも	mí bǔ de huǎng yán 彌 補 的 謊 言	嘘で固めた
可愛い人	cháng huán de jí kǒu 償 還 的 藉 口	償いなんて
探すことよ	wǒ zěn me néng xiāng xìn 我 怎 麼 能 相 信	信じられないわ
愛を償えば	ài de xīn lù lǚ chéng 愛 的 心 路 旅 程	愛の始まりは
重荷になるから	wǒ céng jīng dā yìng nǐ qiān yǐn 我 曾 經 答 應 你 牽 引	互いに引かれたから
この町を離れ	zhè zhǐ néng shuō wǒ tài duō qíng 這 只 能 說 我 太 多 情	ただただ好きだった
暮らしてみるわ	bù gǎn mán yuàn nǐ wú qíng 不 敢 埋 怨 你 無 情	憾みはあるけれど
お酒飲むのも ひとり	wǒ céng jīng nài xīn tīng nǐ biǎo míng 我 曾 經 耐 心 聽 你 表 明	言い訳をじっと聞いたわ
夢を見るのも ひとり	yě yǐ jīng liàng jiě nǐ de kǔ zhōng 也 已 經 諒 解 你 的 苦 衷	苦しみはわかるけど
明日は他人同士に	qǐng bù yào yòng cháng huán zuò jí kǒu 請 不 要 用 償 還 做 藉 口	償いはいらないから
なるけれど	shāng le wǒ zì zūn 傷 了 我 自 尊	もう傷つけないで

最後の繰り返し部分は，省略。